

いどばた

気仙沼
コミュニティ
ペーパー
発行
2013年
11月27日

第24号

気仙沼を笑顔に!!

～何もないトンネルに火を灯そう★ミ～



市内仮設住宅にお住まいの千葉さんは“気仙沼に希望の種をまきたい”“お世話になった気仙沼に恩返しをしたい”という気持ちを含め『気仙沼にバッティングセンターを建てる』という計画を立て、現在、松崎で整地作業を進めています。そのきっかけを作ったのは小学生の息子さんと、1時間半かかる岩手県のバッティングセンターへ行った帰り道「パパ、遠いね。気仙沼に作ってよ。僕はこうやって連れてきてもらえるけど、本当にやりたくても野球をやれない子が沢山いるんだよ。だから作って!!」という、息子さんの言葉だったそうです。千葉さんは、震災前に地元で牛乳屋さんを営んでいたこともあり、震災後復帰してオリジナル商品『希望ののむヨーグルト』を販売し、売り上げの利益の一部をバッティングセンターの建設資金として充てられています。また、バッティングセンターは野球の初心者や女性、車椅子利用の方まで様々な人が楽しめるように考え、7打席設けられる予定です。場所は『三峰ゴルフガーデン』の敷地内を借りており、悪天候などで工期は遅れていますが、完成予定は年内と考えています。



『希望ののむヨーグルト』の容器はバットの形になっていて、バット（容器）にボールのラベルを付けたデザインもあります。また、パッケージに描かれている星空は、震災翌日の夜空が目に残る程綺麗で、そのときの星空がデザインとなっております。流れ星には息子さんを乗せ復興に向かう姿勢や、地元の人に希望を持ってほしいとの願いも込められています。ヨーグルトはクセはなく、とても飲みやすく『ヨーグルトを飲むと希望が持てます!!』ということです。一度、健康の為に味わってみてはどうでしょうか(°▽°*)♪

希望の のむヨーグルト

1本450円(720ml)

■ お問い合わせ先 ■

(株)千葉一商事
ミルクセンターちばいち

住所：気仙沼市松川73-1
電話：0226-22-1098

気仙沼で活動している 高校生団体



ユース 底上げYouth

市内の高校生による有志団体

「底上げYouth(ユース)」さんは、2012年9月に結成され、3チームで様々な方向から気仙沼の魅力を発見、発信しています。気仙沼の良さを改めて気付くことで高校生自らも日々成長し、「底上げYouthのメンバーは皆、日本一地元が好きだと言う自信があります！」と語る表情は、とてもいきいきしていました★

フードチーム

苦手な人が多い気仙沼の郷土料理「あざら」を多くの人に食べてもらいたいという想いから、「どうすれば食べやすくなるか」をテーマに活動しています。これまでに、シチューに加えてチャウダー風にしたものや、チーズと一緒にドリアにしたものなど、様々な発想で調理法を提案してきました。

※あざらとは、白菜の古漬けとパラメスケという魚を酒粕と一緒に煮た料理です。

恋人チーム

気仙沼の「恋人スポット」をオリジナルのジンクスやラブストーリーを交えて紹介しています。「煙雲館」を紹介したリーフレットでは、「恋人」と言う言葉を世間に広めた「落合直文」の歴史にも触れています。リーフレットは市内の施設や店舗を中心に置かれ、県外にも広まっています。いずれは紹介した恋人スポットを巡るツアーも企画中です。

お祭りチーム

みなとまつりを通し、気仙沼の魅力を全国の人達に知ってもらうことを目的に活動しています。気仙沼市民にも「みなとまつりの凄さ」を改めて知ってもらおうということから、みなとまつりのアピールと、底上げYouthの紹介をデザインに織り込んだオリジナルうちわの製作に取り掛かっています。

底上げYouthフェイスブック 「いいね！」をクリック

<https://www.facebook.com/sokoageyouth>

気仙沼のゆるキャラ「ホヤぼーや」の形をした焼き菓子「ホヤぼーや焼き」を製造している池原 修（いけはら おさむ）さんは、以前お住いの川口町と、現在お住いの赤岩杉の沢住宅の自治会長を務めています。ホヤぼーや焼きは、「会長が何かすれば、興味を持った人たちが集まって交流が出来るのではないか。」という池原さんならではの想いから始められました。

ホヤぼーや焼き

★
中には、あんこがたっぷり
入っています☆



ホヤぼーや焼きを作る焼き型と屋台は、池原さんの出身地である富山県の人に製造を依頼しました。約2ヵ月後には完成品が手元に届けられ、その翌日に行われた「第62回 気仙沼みなとまつり」にて、初出店を迎えたそうです。その後も池原さんは、市内のイベントなどでホヤぼーや焼きを販売し、「再建の日まで、一人でも多くの方が健康でその日を迎えていただきたい。それが一番の願いであり、そのためなら私は出来る限りのことをしていきたいです。」と話されていました。

暖房器具の 注意点

冬場は暖房器具が必需品ですが、誤った使い方をするとうつ火災や一酸化炭素中毒など、事故の原因になる場合もあります。

正しい使い方で快適な冬を過ごしましょう！！

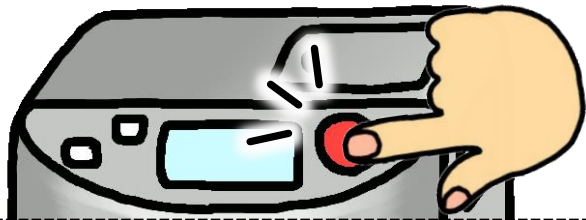
・近くにスプレー缶を置かない(使用しない)

熱が当たると破裂する恐れがあり、スプレー缶内のガスに引火すると大変危険です。



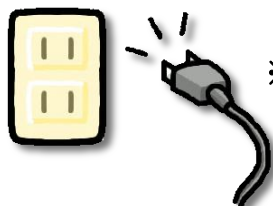
・就寝時はスイッチを消す

寝返りをうった際に布団などが接触し、引火する危険性があります。



・長時間使用しないときはコンセントを抜く

気付かないうちにスイッチに触れてしまい、電源が入ってしまう場合があります。



※コンセントは、濡れた手で触らないようにしましょう。

・周りに洗濯物を干さない

洗濯物の他にも「カーテン・布団・ふすま」など、近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう。



一酸化炭素中毒に注意

「一酸化炭素」は無色・無臭の気体です。石油ストーブなどの「燃焼」を行う暖房器具を使用しているときは、常に一酸化炭素が発生しています。換気が不十分で室内の一酸化炭素濃度が上がると、頭痛、めまい、耳鳴り、吐き気などの症状が出ることもあります。少しでも異常を感じた際は暖房器具の使用を止め、十分な換気をしてください。

窓を開ける、換気扇を回すなど
こまめな換気を心掛けましょう。



紹介したい情報や、おすすめのレシピがあれば是非教えてください☆
読んでみた感想なども受け付けています。
下記の住所、またはお近くのKRAスタッフ
にお話し下さい(▽)

いとばた25号は
1月下旬に
発行する予定です

KRAってなに??

KRAとは「(社)気仙沼復興協会」の略です。気仙沼市民の力で気仙沼を復興させることを目的とし、震災による失業者を中心に設立されました。清掃作業、写真救済作業、ボランティアの受け入れ、発掘作業、仮設住宅や周辺地域のコミュニティ支援などの復興事業を行っています。

作成・編集

(社)気仙沼復興協会
【KRA】福祉部

気仙沼市赤岩港14-1 2F

TEL 0226-22-6211

FAX 0226-22-6212



協力

★SEEDS ASIA
(シーズアジア)

★CIVIC FORCE
(シビックフォース)



CIVIC FORCE